D215
環境報告書作成のサポート

2014年3月19日

化学工学会 SCE･Net
CKK: CSR･環境報告書研究会
郷　茂夫　服部 道夫

Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

目　次

１．CSR報告書，社会環境報告書とは

２．中小企業にとってのCSR・環境報告書

３．SCE・Net　CKKグループの活動と事例

Copyright© 2014　郷　茂夫　服部　道夫

1．CSR,社会環境報告とは

EMS
環境マネジメントシステム

形，結果，公開　としての；
・CSR報告書
・サステイナビリティ報告書
・社会環境報告書
・環境報告書
・統合報告書　など

認証登録制度
（厳格～緩やか）

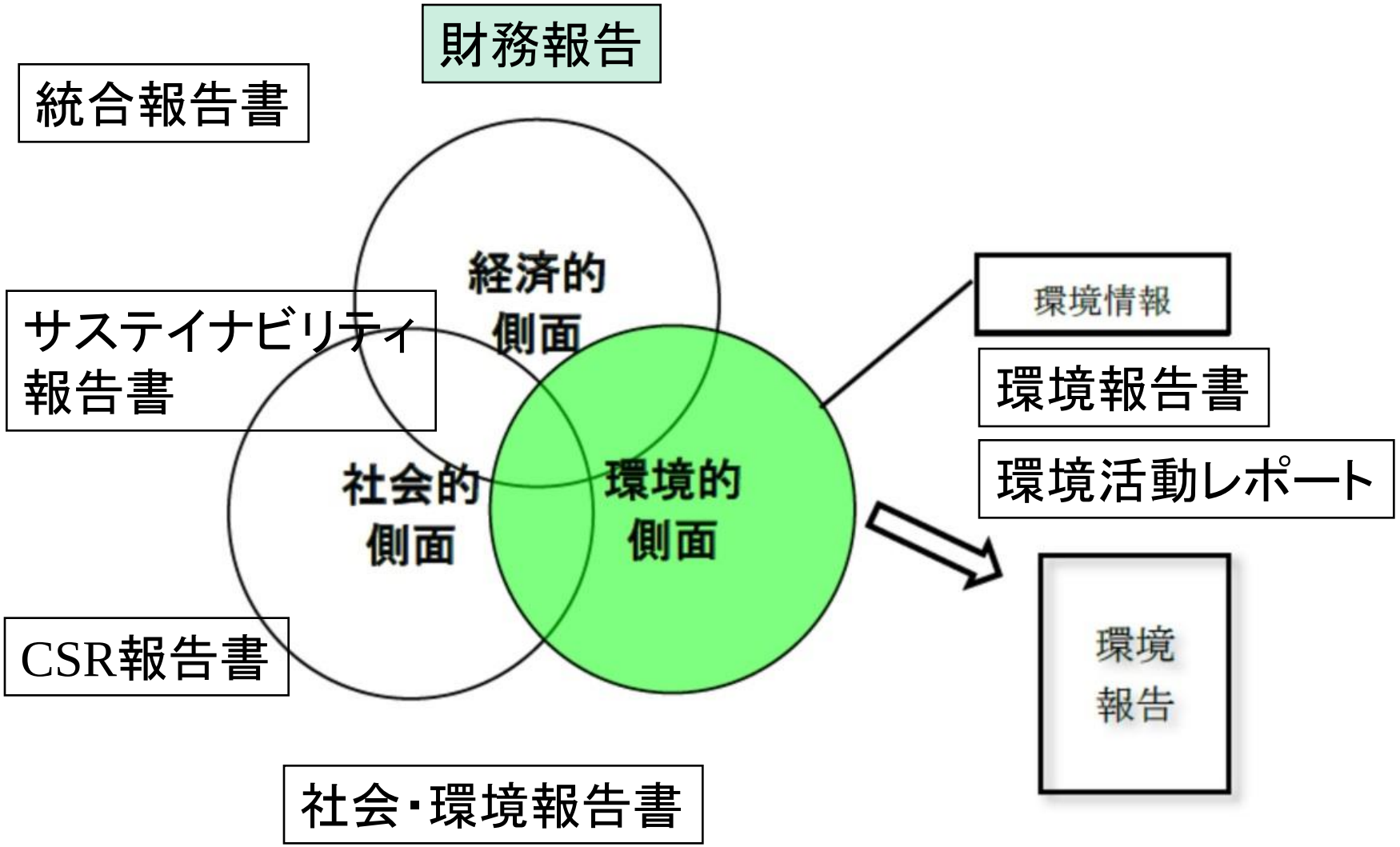
全国版，地方版

大企業向け
中小企業向け，小企業への絶対に認証登録が必要なわけではない．

手引き，ガイドライン；
GRI, ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｺﾝﾊﾟｸﾄ,
環境ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ，IIRC,
など．（制度対応）

Copyright© 2014 郷　茂夫　服部　道夫
Copyright© 2014 郷　茂夫　服部　道夫

図 1　事業活動に関する情報と環境報告との関係イメージ



Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

認証登録制度の例（全国版）

登録・認証制度	ごく概要・特徴点	所管組織
ISO14001	組織の規模・業種を問わず，目標を立てPDCAサイクルで達成，年一回、規格に適合かを審査⇒審査報告書を作成（非公開），外部向け「環境報告」の発表は自由（報告書の形も自由）． 課題：ISO14001は費用がかかる、活動のマンネリ化	
ISO26000	SRに関する手引の国際規格，自主的手引，認証規格ではない	
エコアクション21（EA21）	中小企業にも取り組みやすい，環境負荷指標を特定、環境活動レポートの作成・公表を必須要件．（2013/7,729事業所）	環境省; 地球環境戦略研究機関
KES	中小企業にも取り組みやすい．地方版からKESの認証取得事業者は全国に広がっている、相互認証も．	KES環境機構，2001年京都で開始
エコステージ	ISO14001取得前～後も含めた民間規格，5段階の認証ステージ，中小企業も取組める．	エコステージ協会，4,255事業所

他には； EMAS：EUの環境管理監査制度， 環境自治体スタンダード（LAS-E），
東商企業行動規範 など．

Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

認証登録制度の例（ローカル，中小企業向け）

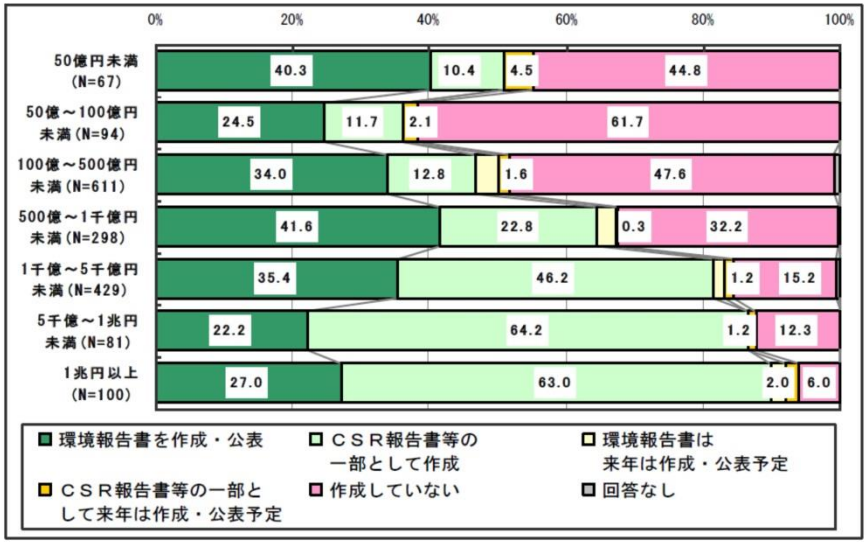
	関連ガイドライン・様式	備考
コンパクトエコシステム	費用面、手続き面ではハードルが高いと考える中小・小規模企業のニーズにあったシステム，全員参加，特定部門に偏らない，PDCAで取り組む．	一般社団法人日本経営士会
みちのくEMS	中小規模の事業者向け，環境に配慮した事業活動に取り組み、持続可能な社会を実現するための第一歩	みちのく環境管理規格認証機構，仙台
彩の国エコアップ宣言	埼玉県；中小企業を対象として，環境管理を実践する環境負荷低減計画の作成・提出と社会に公表するなどの制度． ＃CSRチェックリスト（さいたま市「CSRチャレンジ企業認証制度」の一環　＞＞入りやすいと．	埼玉県 さいたま市
その他；　北海道（HES)，青森フォAES，　三重（M-EMS），宝塚（TEMS），　神戸(KEMS) 等		

Copyright© 2014　郷　茂夫　服部　道夫

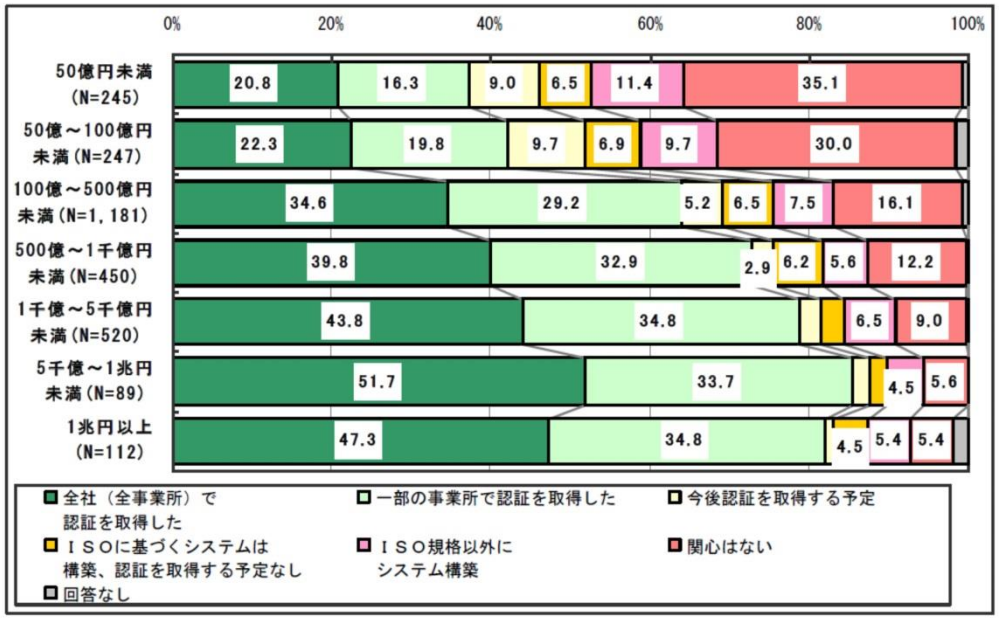
認証取得，報告書作成の状況

・「環境報告書作成と環境マネジメントシステム認証取得の状況」より　（大企業データ）
・東京、大阪及び名古屋証券取引所1 部及び2 部上場企業 1,142 社（47.3%）
・従業員500 人以上の非上場企業及び事業所 1,894 社（44.2%）合計 3,036 社（45.3%）

○環境報告書作成状況（売上高別）



○ISO14001・エコアクション２１などのＥＭＳ認証取得状況（売上高別）



N:回答数

現在，1,000社以上が作成

環境報告書の入手

1) エコほっとライン(資料請求サイト) 791社
2) CSR図書館・net 449社
3) 環境報告書プラザ 800社
4) 社会・環境報告書データベース 562社
5) 日経BP環境経営フォーラム
環境・CSR報告書大全（DVD-ROM）
6) CSRレポート・環境goo 357社

Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

2. 環境報告書に対する顕彰

東洋経済新報社環境報告書・サステナビリティ報告書賞

受賞した組織の多くは著名な大企業であるが、なかには従業員が37人の企業が5回、80人の企業が2回受賞しているのが注目される;

→ **これらの企業にとって「非常に重要」だったことを示す.**

注1)	受賞社は他はすべて有名企業				20130618
	「小企業の環境報告書受賞」	廃棄物処理業者:()内は20XX年			
		主催・共催	リヴァックス	リリーフ	リマテック
		従業員数⇒	37	80	176(13)
2013	第16回環境コミュニケーション大賞　環境報告書部門	環境省		奨励賞	
2011	第15回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞	東洋経済新報社	サ・優良賞		
2010	第14回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞	東洋経済新報社			環・優良賞
2009	第13回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞	東洋経済新報社	サ・優良賞		
2008	第11回環境コミュニケーション大賞　環境報告書部門	環境省	奨励賞	優良賞	
2006	第10回環境コミュニケーション大賞　環境報告書部門	環境省	奨励賞		
2006	第10回環境報告書賞・サステナビリティ報告書賞	東洋経済新報社	環・中小企業賞		
2002	環境報告書賞	東洋経済新報社			環・中小企業賞

Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

中小企業；取組み効果の意識の切替え

多くの考え（懐疑意見）	地域清掃や募金、企業ボランティア等の社会貢献活動は不要. 「社会貢献は大事だが、自社の事業，利益にどんなプラスがあるのか」と.
CSRの直接的インセンティブ	・事業入札の条件，　自治体・地元NPO等とのコラボ. ・行政対応，原料資材購買，製品販売，対外サービス提供で，企業PR，自社能力，メリットある取引が可能に→　将来，さらに拡大.
CSRの効果，ツールとしての意味； 効果大きい	・社内共有は従業員の意識向上，社外共有すれば企業ブランディング ・取引先に「企業らしさ」「企業価値」を伝えられるツール ・CSR意識の高い企業との取引；大企業は取引先のことで懸念意識がある ・価格競争に陥った場合の発想の転換；他社がマネがしにくい. ・社員がすぐ辞めてしまう；人材を定着させる ・顧客，ユーザーから、付き合い甲斐のある会社に ・投資家と証券取引所は、財務報告とサステナビリティ報告の統合を要請，
EMSアプローチの問題意識	・社会視点と長期視点で解決するというアプローチ ・中心となるのは企業価値；どのように持続的に高めていくのか ・社長の影響力が大きく、社長自身のCSR観がそのままCSRスタイルに
CSRの本質	・CSRの本質は結局、大企業も中小企業も同じ ・**EMS／社会環境報告書＝「経営」そのもの**　株価にも

Copyright© 2014　郷　茂夫　服部

公表された調査から（ベース認識として）

NTT, 環境goo; 「環境・社会報告書シンポジウム2013」より

＜一般人への調査＞	
社会的責任や活動成果の効果の重要性	**低下傾向**，重要項目として「**環境保護**」「**雇用・労働**」や，「**汚染の予防**」「**消費者の安全衛生の保護**」を選ぶ
報告書の有効性	「ある程度有効」が過半数、**全体的な評価は低下傾向**
信頼度，信頼性のある報告書の条件	**正確な情報**開示，「**ネガティブ情報**も**記載**している」，「**客観的なデータ**で示していること」
報告書の問題点	「各社の**内容や書式**が異なり比較ができない」、「数値データを示されても**評価ができない**」、「**良いことばかり**が書かれていて客観的でない」，「**専門用語**が多くてわかりにくい」，ごく一部の人にしか正確な理解が及んでいない可能性.
信頼性のある報告書の条件	「**ネガティブな情報の開示**」や「**客観的なデータの提示**」という回答が多数ですが、一方で、数字だけを示されてもその意図するところが理解できないため、その**背景も含めた情報開示**が必要とされている.

Copyright© 2014 郷 茂夫 服部

３．CKK活動の考え（2012年設立）

１．対象：**中小企業；特に小規模企業**に留意
２．突っ込む範囲：**環境関係の評価**が主体であるが，その企業　の状態によりいろいろある；　「**第三者意見の提示**」を活動の主目的としていたが，今後はCSR，社会環境報告書の**全体の作成支援**も含める
３．相手の**要求範囲や我々の支援の仕方**は千差万別；
求められる範囲　／CKKの作業能力の関係を見極めて取り組む
４．公表された**取組意識や調査結果に留意**する．
５．自分たちの**勉強**，実力付け；いわばOJT，PRパンフレットなど作成
６．対象企業を見つける作業；**会員企業，学会関連企業**等中心に．

＜自己の経験＞（1）企業での環境活動の実務体験:環境負荷削減技術の調査・開発、実施，（2）ISO14001環境マネジメントシステム主任審査員、EA21審査人、環境カウンセラーなどの資格を保有している．

Copyright© 2014　郷　茂夫　服部　道夫

活動例1　第三者意見の作成

綜研化学㈱様からご依頼を受け，「2013年社会・環境報告書」の第三者意見を作成し、同報告書に記載された。

第三者意見とは；

報告書の内容と信頼性を向上するために採用される；

(1) 監査法人，専門評価組織による「第三者審査報告書」：
ガイドライン等をクライテリアとして審査した結果を報告；
「保証」を行う場合，「意見・コメント」とする場合もある。

(2) 有識者による報告書の評価・勧告・意見表明など
→　CKKの対応

Copyright© 2014　郷　茂夫　服部　道夫

第三者意見の作成／CKK留意点

(1) 2013年度**報告書の内容**，他にの企業報告書も精査

(2) 過去の報告書、特に「**第三者意見」が言及した項目**の内容をレビューした.

(3)「**受け手の視点から**」評価することを第一主眼とした.
地域への開示，社員間の共有，を重点とした.

(4)「**環境負荷低減の視点**」 がCKKの専門分野であり，特に目標未達成部分について原因と対応の可能性に触れた.

以上を勘案し、具体的な意見と期待を述べ、**「期待する」が「達成する」へ進化，深化することを希望**した.

Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

綜研化学㈱様への第三者意見提供

JASDAQ上場,
資本金;34億円,
従業員数:約1,000名(連結)

「2013社会・環境報告書」の第三者意見を作成し、同報告書に掲載;
2010年には「第22回アートビリティ大賞アサヒビール奨励賞を受賞している。

第三者意見

綜研化学「2013 社会・環境報告書を読んで」

公益社団法人 化学工学会
産学官連携センター SCE-Net
服部 道夫

化学会社で事業、プロセス、設備などの開発に従事し、その後大学の非常勤講師、企業の技術支援などを歴任。
元　環境マネジメントシステム主任審査員。資格:技術士(化学部門)、神奈川県技術アドバイザー、環境カウンセラー(事業者部門)

「受け手の視点から」

社会・環境報告書は、企業活動が社会・環境に及ぼす好ましくない影響を予防し、好ましい影響を付加する活動の計画・実施結果を報告するものと考えられます。ではだれに報告するのでしょうか。①お客様・お取引先の皆様と最終ユーザー、②活動の担い手である社員、③近隣住民の皆様と考えられます。これら受け手の視点から考えてみたいと思います。

①お客様・お取引先の皆様と最終ユーザー向け

2013報告書は、冒頭に製品の使用場面を発信しています。消費者の皆様に向けた視点が明らかにされており、表現方法の更なる工夫により、更に身近に感じるものとなることを期待します。本年より「お取引先様からのメッセージ」が記載され、今後とも顧客が綜研化学になにを期待しているかの道しるべとして活かしていくことを期待します。

②活動の担い手である社員向け

社員が会社方針・施策を自分のものとして「環境負荷低減・安全操業」の活動を担う意欲を高めるために重要です。一例をあげると「育児休業取得者の声」の記載は社員がこの制度を理解して相互に快く協力するために有用であり、更に将来の社員である学生向けに魅力的なメッセージとなることが望まれます。

③近隣住民の皆様向け

近隣の皆様の関心事は「マイナス面である生活環境への不快な影響防止と事故・災害の予防」と「プラス面である地域貢献」です。マイナス面への対応として災害予防処置と発生対応訓練の実施をベースとして、近隣住民の見学会を毎年実施し、参加者の声を活かして近隣と馴染み、不安低減と信頼を得ることは重要な視点です。またプラス面対応として子どもたち向けの質の高い理科教育が実施されており社会貢献として高く評価されます。さらに、「技術者の伝承・再生産」たとえば「この教育をうけた子どもたちの何人かが将来技術者になりたいと強く感じる」レベルを目指すことで、教える社員そのものがレベルアップしていくことを期待します。

「環境負荷低減の視点から」　第三次環境中期計画 重要課題3項目のうち2項目の目標・実績について

① **「環境効率」**:ここ数年、目標未達が続いていましたが、2012年度は4セグメントに分けて管理した結果、3セグメントで目標を大きく上回って達成しました。PDCAサイクルの適切な運用による仕組みの見直しが有効であったと思われます。

② **「環境配慮型製品売上比率」**:残念ながら2011年度にひきつづき、2012年度も目標未達です。懸命に努力をしても2年つづけて未達ということから、①と同様に未達の理由が仕組みのどこにあるかを深く分析し、適切な目標に対応した具体的な達成手段などの改善に継続的に踏み込むことを期待します。

全体としてよく計画・管理されており、それに従って社員がそれらを自分のものとして活き活きと行動されていることが実感されます。PDCAサイクルの運用により継続的改善をつづけて上記の「期待する」が「達成する・実現する」に進化していくことを期待します。

執行役員
安全推進室長
山本一己

第三者意見を受けて

社会・環境報告書は、環境マネジメントシステムの導入と同時期に、お客様・お取引先様、従業員、近隣の皆様へ綜研化学グループの社会への貢献、安全・環境活動の取り組みについて情報発信をするために毎年作られてきました。

環境活動の当初は環境への著しい側面を抽出して、それらの環境負荷を低減する活動として始めましたが、活動を可視化して綜研化学グループのステークホルダーの皆様から意見を頂き、また、1年間の活動成果を振り返り進めている過程で、綜研化学グループとして環境保全を指向することは、研究開発から製造、サプライチェーンまでのプロセスにおいて、本来の企業活動として重要な資源のロス、エネルギーのロスを無くして低コストで製品を提供することであるということが分かってきました。つまり、商品を提供する生産プロセスにおいて、環境の保全活動の方向は、根本的には効率的な生産プロセスを追究する方向と一致し、研究開発と生産プロセスの改善により環境保全と同時に生産性の向上を達成できることが分かってきました。

今回、綜研化学グループの社会・環境報告書の受け手の立場から、綜研化学グループに期待することと、更に今後、努力すべきこと等の貴重なご意見を頂きました。また、環境中期計画については、2012年度の実績を踏まえて、今後の取り組みについてのアドバイスを頂きました。社会・環境報告書により、ステークホルダーの皆様からのご意見とご指摘を頂くことは、綜研化学グループにとって大きな励ましと活動の方向を示唆して頂けるものです。綜研化学グループの環境保全活動は少しずつですが質の高い活動のステージになりつつあると感じていますが、更に一層の努力をしてまいります。

活動例2；環境報告書作成の試作

従業員100人に満たない中小企業が作成した環境報告書が受賞していることから、廃棄物関連企業の環境報告書作成ニーズに着目した；

現在、「廃棄物関連企業の環境報告書」の環境報告書作成ニーズに着目してトライアルを実施中である。

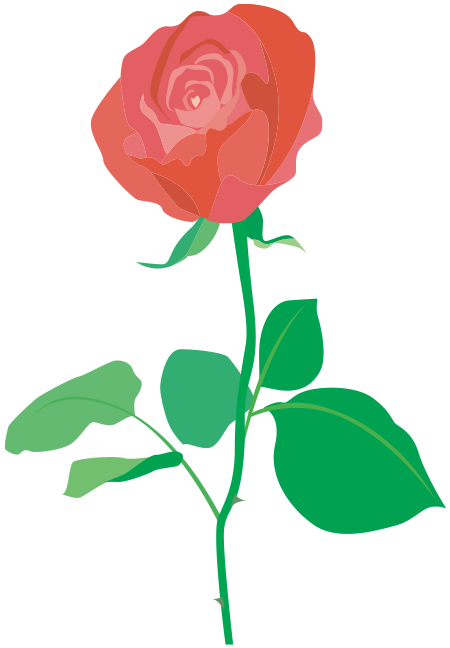
Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

活動例3：コンサルティング活動

- 企業のEMS活動，報告書作成に早期から参画して，種々相談にあずかることができれば，CKKとして理想的である.
- 困難や限界があると思うが，26年度より取り組みたい.

Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫

ご清聴ありがとうございました



Copyright© 2014 郷 茂夫 服部 道夫